

さいとう 健『今日のメシ』（皆さんとの出会いの中で感じたこと…）

その1 野田の介護現場の方々と

先日、野田市で介護の現場で汗を流されておられる方々から、直接お話をうかがう機会がありました。

何よりも痛感しましたのは、過酷な現場で志高く働いておられるのに、生活するのが大変だという実態でした。24歳の男性が、結婚後、生活が成り立たないと話しておられた声は、今も耳に残っております。

また、介護認定の際、もっと柔軟に対応しないとかえって財政負担が増えるというお話は、目からうろこの印象を持ちました。



これからますます介護需要は増えるわけですから、現場で働く方々の声にもっと耳を傾けた制度改革の必要性を痛感しました。新政権の取り組みを大いに注視していきたいと思っております。

皆さん、ありがとうございます。

プロフィール

昭和34年 6月14日東京生まれ(48歳)
昭和58年 通商産業省入省
平成4年 中小企業庁金融課
平成11年 通商産業大臣秘書官
平成15年 経済産業省電力基盤整備課長
平成16年 埼玉県副知事
平成18年 衆議院千葉7区補欠選挙にて
955票差で惜敗

[趣味] 読書、子供と遊ぶこと、ハンドボール
[家族] 妻、一男一女、オス犬一匹
[好きな言葉] 正義 [好きな人物] 原 敬
[現在] 多摩大学大学院客員教授 ほか

後援会事務所

流山市市野谷 665-40-103
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224

さいとう健は、直接皆様とお話することを基本姿勢にしています。
街中や駅頭などでお見掛けしましたら、お気軽にお声掛け下さい！



その2 「第5回さいとう健と語る」

9月22日、流山生涯学習センターで「第5回さいとう健と語る」を開催しました。今回のゲストは、元文部官僚で、現在朝のテレビ番組でもご活躍の、寺脇 研氏に来ていただきました。

寺脇氏は、ゆとり教育を推進した方で、氏を呼ぶことは、さいとう健にとってマイナスだというご意見もありましたが、私は、呼ぶなどというのは行き過ぎで、むしろ、賛否両論あるテーマであるならば、当事者の話をきちんと聴いた上で、判断は自分たちですればいいのだからと、二時間近くお話しいただきました。

内容についてはご紹介する紙面がありませんが、ゆとり教育について世間で言われていることに、大変多くの誤解があることがはっきりしました。第6回以降も、考えさせるようなテーマで開催していきたいと思っております。

